

木更津工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	英語ⅣB
科目基礎情報						
科目番号	0036		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	情報工学科		対象学年	2		
開設期	後期		週時間数	2		
教科書/教材	3ラウンド・システムに基づいて作成したスライド教材『First Listening』／『Step Up Listening 【改訂版】 Step 3』公益財団法人 日本英語検定協会, 2018年／『Creative Listening Stage 2』い いずな書店, 2015年／『COCET2600 理工系学生のための必修英単語2600』成美堂, 2012年					
担当教員	岩崎 洋一					
到達目標						
・日常生活の身近な話題について英語を聞き、情報や考えなどを理解することができる。 ・英語によるコミュニケーションに必要な基本的な文法力を身につけることができる。 ・積極的に英語によるコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけることができる。 ・理工系学生のための必修英単語（『COCET 2600』の「No.1501～2000」）を500語習得することができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1 リスニング	日常生活の身近な話題について英語を聞き、発話の意図などを正確に理解することができる。		日常生活の身近な話題について英語を聞き、情報や考えなどを理解することができる。		日常生活の身近な話題について英語を聞き、情報や考えなどを理解することができない。	
評価項目2 英語の発音	単語の発音や強勢、センテンスのイントネーションなどを正確に理解し、音読することができる。		単語の発音や強勢、センテンスのイントネーションなどを理解することができる。		単語の発音や強勢、センテンスのイントネーションなどを理解することができない。	
評価項目3 語彙	英語によるコミュニケーションに必要な基本的な語彙を正確に身に付けることができる。		英語によるコミュニケーションに必要な基本的な語彙を概ね身に付けることができる。		英語によるコミュニケーションに必要な基本的な語彙を身に付けることができない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	英語ⅡA・ⅡB・ⅣAで培われた英語の音声によるコミュニケーション能力を発展させ、主に高専生として求められるリスニング能力を身に付けることを目的とした授業である。同時に、英語によるコミュニケーションに必要な基本的な文法力を身に付けるとともに、積極的に英語によるコミュニケーションを図ろうとする態度を涵養することも目的とする。さらに、高専生に必要な語彙力を養成する。					
授業の進め方・方法	・3ラウンド・システムの理論に基づき、リスニング活動を中心に授業を行う。伝統的な英語の授業とは大きく異なる部分が多くあるので、指示に従い主体的に授業に参加することが重要となる。 ・本授業では『First Listening』の全5ユニットのうちユニット1, 3, 4の3ユニットを扱う。 ・毎回授業時にプリントを配布するので、保存用のファイルを用意すること。 ・『Step Up Listening』を使って定期的にQuizを行う。欠席等によりQuizを受けなかった場合、1週間以内出れば追試験を認める。 ・『COCET2600』の学習については、単語No.1501-2000を学習範囲とし、定期的に語彙Quizを行う（欠席した場合の追試験は認めない）。 ・QuizはOffice365を活用して行うので常にサインインできるようにしておくこと。 ・『Creative Listening』は、授業外の課題として使用する。					
注意点	・中間試験および定期試験を実施し、試験成績(2回の試験の平均点)を60%, Quizの成績を20%, 授業への積極的な参加状況及び課題の提出状況を20%として総合評価する。 ・授業中はリスニング活動を中心に行うので、積極的に参加することが重要である。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	・ガイダンス			
		2週	・Unit 1 Situational Dialogs, Step 1 ・Quiz (第16回)		・レストランや病院などでの会話を聞き、大まかな内容を理解することができる。	
		3週	・Unit 1 Situational Dialogs, Step 2 ・Quiz (第17回)		・レストランなどでの会話を聞き、正確に聞き取ることができる。	
		4週	・Unit 1 Situational Dialogs, Step 2 ・Quiz (第18回)		・病院などでの会話を聞き、正確に聞き取ることができる。	
		5週	・Unit 1 Situational Dialogs, Step 3 ・Quiz (第19回)		・レストランや病院などでの会話を聞き、言われていることを総合して「結論や発話の意図」を理解することができる。	
		6週	・Unit 3 Student Life, Step 1 ・Quiz (第20回)		・家庭や学校などでの日常会話を聞き、大まかな内容を理解することができる。	
		7週	・Unit 3 Student Life, Step 2		・家庭や学校などでの日常会話を聞き、正確に聞き取ることができる。	
		8週	後期中間試験		・Quiz (第21, 22回) の内容は後期中間試験で出題する予定。	
	4thQ	9週	・Unit 3 Student Life, Step 2 ・Quiz (第23回)		・家庭や学校などでの日常会話を聞き、正確に聞き取ることができる。	
		10週	・Unit 3 Student Life, Step 3 ・Quiz (第24回)		・家庭や学校などでの日常会話を聞き、言われていることを総合して「結論や発話の意図」を理解することができる。	
		11週	・Unit 4 Humor, Step 1 ・Quiz (第25回)		・ユーモアを聞き、大まかな内容を理解することができる。	
		12週	・Unit 4 Humor, Step 2 ・Quiz (第26回)		・ユーモアを聞き、正確に聞き取ることができる。	
		13週	・Unit 4 Humor, Step 2 ・Quiz (第27回)		・ユーモアを聞き、正確に聞き取ることができる。	
		14週	・Unit 4 Humor, Step 3 ・Quiz (第28回)		・ユーモアを聞き、言われていることを総合して「結論や発話の意図」を理解することができる。	

		15週	定期（学年末）試験	・ Quiz（第29, 30回）の内容は後期定期（学年末）試験で出題する予定。	
		16週	試験返却, 解説		
評価割合					
		試験	Quiz	課題・積極性	合計
総合評価割合		60	20	20	100
基礎的能力		60	20	20	100
専門的能力		0	0	0	0
分野横断的能力		0	0	0	0